

## 【レポート】

地球温暖化を一因とする自然災害が頻発化・多発化しており、これ以上の地球温暖化を食い止めるための国や地域の取り組みが急務となっています。国が目標に掲げる2050年カーボンニュートラルを実現するため、三次市における2023年度の取り組みを紹介します。

# 2050年カーボンニュートラルにむけた 三次市の取り組みについて

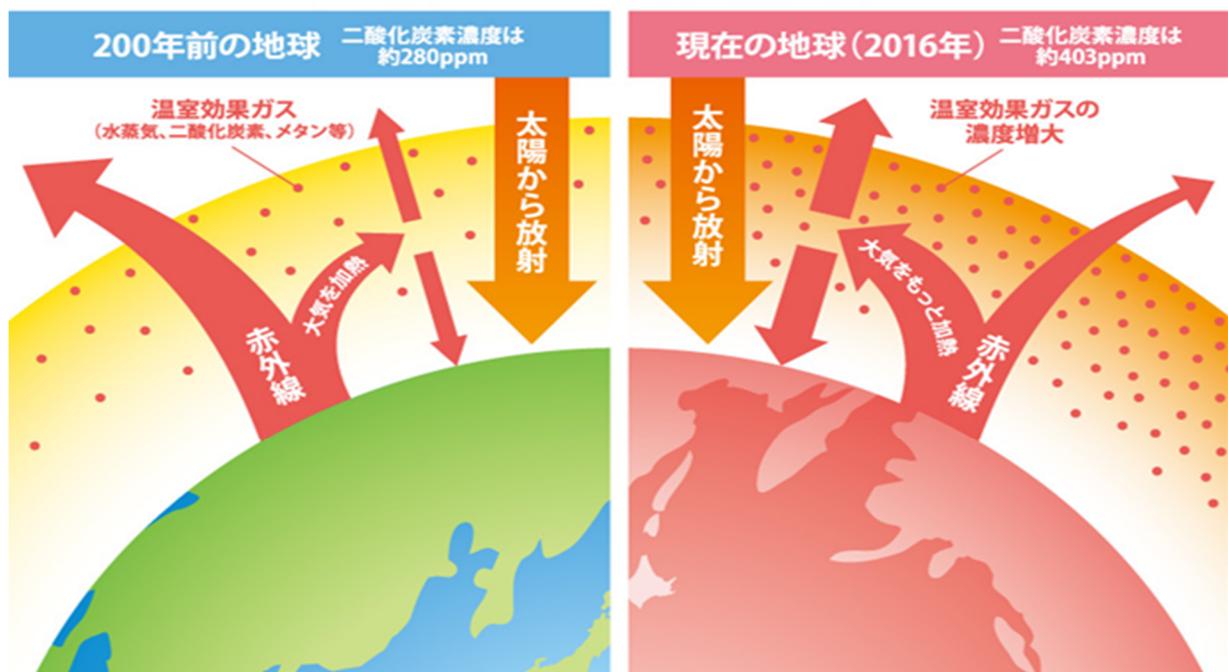
広島県本部／三次市職員労働組合 巳之口 豊

## 1. はじめに

近年、気候変動の影響により、自然災害が発生するリスクが高まっており、国内外で記録的な豪雨や猛暑が発生するなど、自然災害が頻発化・激甚化しています。そういった中、地球温暖化の進行とともに、気候変動の脅威はより深刻なものになると考えられます。地球温暖化の進行を食い止めるため、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスの排出を抑制し、脱炭素社会を実現することは、国や地域に関わらずあらゆる主体が取り組むべき課題だと言えます。

国は2020年10月に、「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言し、2021年10月に策定した「地球温暖化対策計画」の中で、2030年度において、温室効果ガス46%削減（2013年度比）をめざすこと、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けることを表明しました。

### 温室効果ガスによる地球温暖化の仕組み



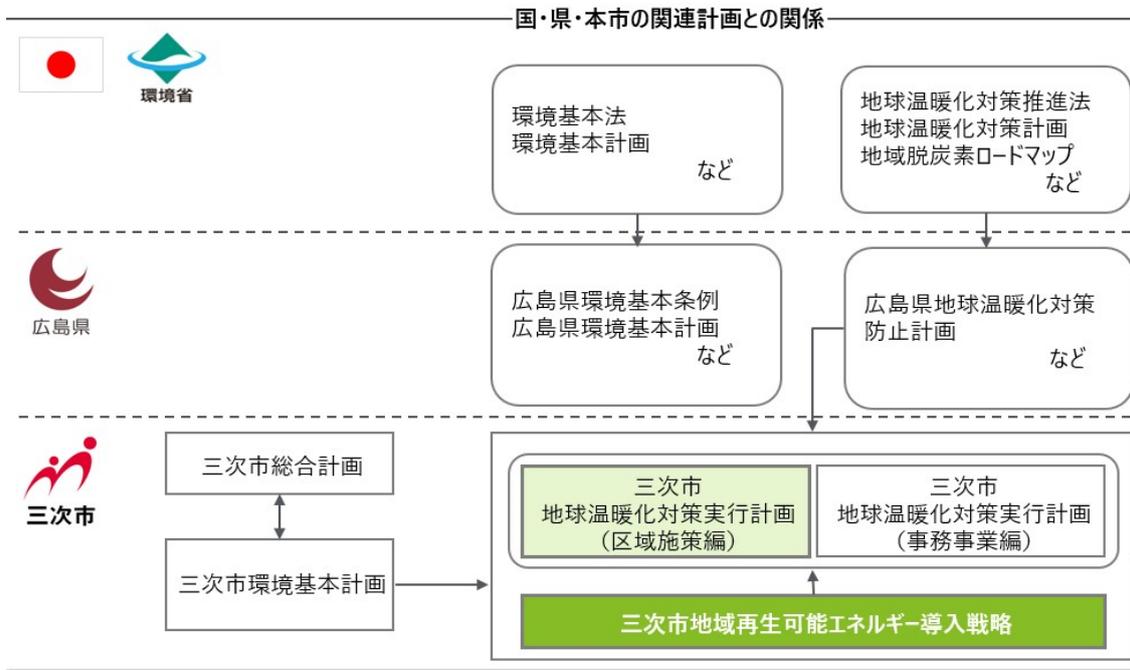
## 2. 三次市の取り組み

三次市では、これまで「三次市環境基本計画」および「三次市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）」の中で、環境保全をはじめ、地球温暖化対策に取り組んできました。

しかしながら、「脱炭素」の取り組みは多岐に渡り、かつ、多大な財政的負担を伴うことから、各自治体が抱える地域課題の解決に「脱炭素」の視点を入れ、環境政策課だけでなく全庁的に、また、行政だけでなく事業者・市民等が一体となって取り組まなければ「2050年カーボンニュートラル」の達成は難しいと考えます。

三次市では、「脱炭素」の取り組みを環境政策課だけでなく、全庁的に進めていくために、2023年度に「三次市カーボンニュートラル推進本部」を設置しました。

その中で、プロジェクトグループを関係する複数課で組織し、具体施策を議論するとともに、2050年カーボンニュートラルの達成に向けた脱炭素シナリオと、これを達成した状態である将来ビジョンを取りまとめ、地域における再生可能エネルギーの最大限導入のための施策を実施する上で、基本的な考え方となるものとして「三次市地域再生可能エネルギー導入戦略」を策定しました。



### 三次市カーボンニュートラル推進本部

本部長：担当副市長    副本部長：市民部長    推進責任者：各部局長  
 推進本部事務局（環境政策課）：本部運営、プロジェクト支援、進捗管理 など

↓ 指示・承認      ↑ 報告・提案

プロジェクトグループ    各分野で現状・地域課題、ありたい姿の認識を共有し、  
**【主管課長を中心に活動】**    地域課題の解決につながる取り組みを推進する。

① 地域新電力（太陽光、木質バイオマス）：財産管理課、都市建築課、農政課、土木課、環境政策課

② 地域内交通、運輸部門の脱炭素化：定住対策・暮らし支援課、地域振興課、商工観光課

③ 啓発事業、みよし未来環境会議：教育委員会、秘書広報課、総務課、環境政策課

### 3. 「三次市地域再生可能エネルギー導入戦略」について

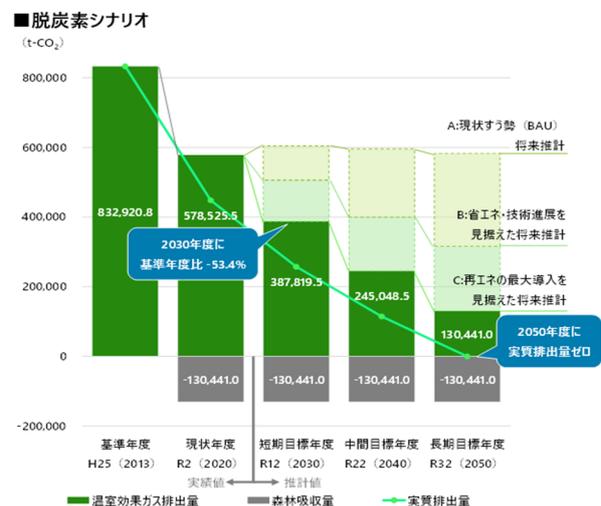
#### (1) 将来ビジョンとめざすまちの姿

「豊かな自然と共生し、活力があふれ、誰もが安心して暮らせる持続可能なまち」

めざすまちの姿	取り組みイメージ例
安心して暮らせるまち	省エネや再エネの次世代技術の活用により、快適に住み続けられる生活基盤の整備をめざします。
地域や産業に活力があるまち	エネルギー等の地域内循環により、農林畜産業など、地場産業の活性化をめざします。
利便性の高いまち	次世代自動車の推進やEVインフラ整備により、クリーンで交通環境の良いまちをめざします。
豊富な地域資源を活用したまち	森林の適切な維持管理により、森林資源を活用した地域循環型カーボンニュートラルの実現をめざします。

#### (2) 脱炭素シナリオ

脱炭素シナリオでは、温室効果ガス排出量を可能な限り削減したうえで、残りの排出量を市内の森林吸収量によって相殺することで、2030年度に基準年（2013年）度比で53.4%削減し、2050年度には温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることをめざします。



#### (3) 脱炭素シナリオの実現にむけた施策

施策の柱は、①省エネルギーの推進（住宅・建物等への省エネ機器の導入や移動手段の省エネなど）、②再生可能エネルギー等の導入推進（太陽光発電設備の導入やバイオマス発電設備の導入など）、③環境教育・啓発活動の推進の3つとしました。施策の実施に当たっては、行政だけでなく、市民や事業者、市内外の関連団体等との連携を図りながら取り組みを進めていきます。

### 4. 2023年度の取り組み（環境教育・啓発活動）

脱炭素シナリオを実現するうえで、市民・事業者の意識変容、行動変容は重要な要素であり、環境教育および啓発活動についても重要な取り組みと言えます。2023年度は、事業者と協定・連携した3R（Reduce・Reuse・Recycle）や、市内イベントでのごみ分別、学校と連携した児童・生徒への環境学習・啓発などに取り組みました。

#### (1) 「サステナみよし」の取り組み

国連で採択されたSDGsの達成に向け、本市の豊かな自然や伝統文化を大切にしながら、市民・来訪者・事業者・行政などによる持続可能な社会構築をめざす多様な活動や取り組みを『サステナみよし』として展開しました。活動テーマを「環境について地球規模で考え、足もとから行動する」として、こ

のフレーズを広報や啓発等に使用し情報共有を図るとともに、環境保全やカーボンニュートラル実現に向けた幅広い取り組みを推進することを目的とします。

### ① 事業者と協定・連携した3Rの推進

2023年8月にHOYA株式会社と協定を締結し、使い捨てコンタクトレンズ空ケースを回収し、再資源化する取り組みに参加をしています。市役所本庁舎・支所、市内中学校・高等学校などに回収ボックスを設置しました。回収された空ケースは、再資源化され、海洋プラスチックとともに、ボールペンなどに商品化されています。

約半年間（2024年3月末）で、30kg（30,000個）を回収しました。（写真左）

また、市内スーパーマーケットと連携し、食品ロス防止のための「てまえどり」などの啓発に取り組みました。（写真右）



### ② 市内イベントでのゴミ分別の取り組み

三次市で開催されたプロ野球ウエスタンリーグ（2023年7月）およびWBS C女子野球ワールドカップ（2023年9月）において、ゴミ分別の啓発・実践に取り組みました。

これまで、イベントで発生するごみは、可燃物と不燃物の2分類でしたが、可燃物・不燃物に加え、「ペットボトル」および「プラスチック・ビニール」の2分類を加え、4分類での分別としました。

とくに女子野球ワールドカップでは、海外から応援に来られた方も多く、ゴミ分別によるリサイクル推進の周知は効果が高かったのではないかと感じました。

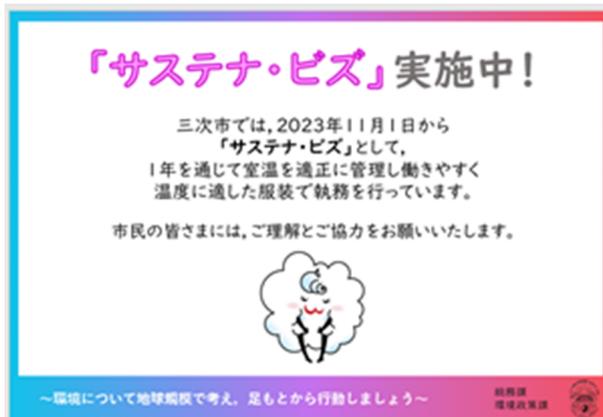


### ③ サステナ・ビズの取り組み

2023年11月から、「サステナ・ビズ」として、1年を通して室温を適正に管理し、快適で働きやすい服装で執務を行っています。（クールビズ、ウォームビズの通年実施）

服装について、期間設定を行わずに職員一人ひとりが主体的に判断することで、さらなる環境意識の高揚につなげることを目的としています。

#### サステナ・ビズははじめました！



### (2) 「みよし未来環境会議」の取り組み

2023年度から「みよし未来環境会議」を設置し、市内中学校・高等学校に通う8人の生徒を「サステナアンバサダー」に任命しました。この会議は、今後三次市が制定に向けて取り組んでいく「(仮称)脱炭素条例」などに対し、未来を担う若い世代の感性や意思を反映させることを目的としたものです。資源循環の取り組みを学ぶ市内フィールドワークなど様々な活動をしています。

※ サステナアンバサダーとは、サステナブル（持続可能な）と、アンバサダー（大使）を組み合わせた造語で、“持続可能な三次の未来づくりを担う大使”という意味が込められています。

市内フィールドワーク：養蜂農家、浄水場から発生する汚泥の活用（瀬織）、ワイナリー

市外フィールドワーク：尾道市（ブルーカーボン）、岡山県真庭市（木質バイオマス）

#### みよし未来環境会議の活動を展開中！



福岡市長とサステナアンバサダーの皆さん



フィールドワークの様子



みよし未来環境会議の取り組み成果品（ポスター、チラシ）

## 5. 今後の取り組みについて

2024年度の取り組みとしては、みよし未来環境会議からの提言をうけ、「（仮称）カーボンニュートラル宣言」の宣言や、「（仮称）脱炭素条例」の制定を計画しているほか、啓発に取り組む予定です。

また、2024年4月26日に三次市と（株）ヤクルト山陽とで締結した包括協定に基づき、粗大ごみのリユース活動や啓発に取り組めます。

三次市地域再生可能エネルギー導入戦略の策定の中で議論した施策についての具体化をすすめていきます。

### 【2024年度の取り組み計画】

- ① 省エネルギーの推進
  - ・公共施設のLED化の推進
  - ・EVインフラの整備（EV充電器の整備）
- ② 再生可能エネルギー等の導入推進
  - ・公共施設への太陽光発電設備の導入検討
- ③ 環境教育・啓発活動の推進
  - ・「（仮称）カーボンニュートラル宣言」の宣言
  - ・「（仮称）脱炭素条例」の制定
  - ・みよし未来環境会議の実施
  - ・市内イベントでのごみ減量化、リサイクル・リユース化の推進

### 【ヤクルト山陽との粗大ごみのリユースについて】

#### 【三次市】

- ・粗大ごみリユースの周知
- ・リユース可能物品の仕分け



#### 【（株）ヤクルト山陽】

- ・粗大ごみの販売（メルカリなど）

※ 売上金は、①メルカリ手数料、②送料、③梱包資材代等、の経費を除き、三次市へ